

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	私が目指す姿	事務局	123
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	赤間 凜

少子高齢化とAI化。私はこの二つのことに着目することにした。AI化が進んでいる今の時代、AIに人間の仕事が奪われる可能性があるという心配の声が増えてきている。そこで私は、社会問題になっている少子高齢化とAIの関連について目を向けることにした。高齢者が増加していく日本に必要となってくる仕事は、介護士や看護師、作業療法士などの介護関係の仕事である。AIに医療の知識や技術があっても、高齢者の方々と相手にコミュニケーションをとるのは困難であろう。将来の夢が作業療法士である私は、そういった点から、高齢者の方と積極的にコミュニケーションが図れる介護関係の施設を職場体験先に選んだのだった。

1日目は、施設を案内された後、コップ洗いを頼まれた。このコップ洗い一つでも利用者の方の安全につながっていることを考えると、一つも手を抜くことはできないという緊張感のようなものが感じられた。次にお昼寝から起きてきた利用者の方に飲み物を渡す作業をした。初めは緊張して利用者の方とうまく話すことができなかったが、何とか名前だけでも覚えてもらおうと一人一人に自己紹介をして回った。自分のことを覚えてもらえるように挨拶をしたり声をかけたりした。名前を覚えてもらうことがこんなに大変だとは思っておらず、自分でも無意識のうちに介護の仕事を甘く見ていたところがあったのかもしれないと実感した。その後、レクリエーションである足上げ運動や頭の体操などを一緒に行い、ついにはスイカ割りにも参加させてもらった。私の番が回ってきた時には周りの方々に右左を教えてもらい、私は見事当てることができた。すると、周りで教えてくださっていた利用者の方たちや介護士の方々も、一緒になって喜んでくれた。うれしいことは一緒になって喜んでくれる。そんなところから、家族みたいな温かみを感じた。帰りの時間になると私は利用者の方の隣に座って帰りの車が来るまで一緒にお話をするようになった。初めのころはあんなに緊張していたのに、いろんな方と一緒に時間を過ごしていたことで、最後には笑顔で楽しく会話をすることができて、自分でも成長を感じられる瞬間だった。

2日目は利用者の方がお昼寝をしている間、私は折り紙で花火を作って紙にきれいに張り付けるという作業をした。その後、1日目と同じく起きてきた方に順番に飲み物を渡していった。2日目では、1日目ではできていなかったことにも挑戦し、利用者の方のことを考えて「熱いので気を付けてくださいね」など、声をかけてから渡すことができた。コップを渡す際に右利きの方には取っ手を右にして渡すといった配慮にも注意した。こういった小さな心遣いが一緒に過ごしていく中で大切なんだと学ぶことができた。2日目は初めのほうから利用者の方と座ってゆっくり会話することができた。うまく会話を繋げられなかった時には、近くにいた介護士の方が「堀端の出身なんだって？」など会話を繋げてくださり、会話を膨らませることができた。介護士の方が私を助けてくれたように、介護士同士でも困ったことがあれば助け合っていくことが大切なのだとわかった。レクリエーションの後には、私が作っていた花火の絵を見た利用者の方が大げさなくらいたくさん褒めてくれた。「大作だな!」「すごく上手にできてる!」など、称賛の声を浴びて、画家になったような気分だったが、うれしかったのと同時に照れくさかった。

こうして、充実した2日間は過ぎていった。今回の仕事体験を通して、体験前と体験後での「働く」ことへの考え方が変化した。体験前は、自分が相手に尽くした分だけ自分にも同じくらい返ってくるものだと思っていたが、体験後では、自分が相手に尽くした分「ありがとう」の感謝の言葉とそれ以上の大きなやりがいを得ることができるものだと知ることができた。

かつろくの里では「家庭的」をモットーとしており、施設の形状も「家」を意識した空間になっている。従前の住宅の暮らしに近い日常生活、可能な限り自立した生活を営むことを支援している。仕事体験に来て最初にそのことを説明されたとき、「施設にいても、家とはなるべく変化をなくして利用者の方にストレスを与えないように工夫して設計されているんだな」と、介護士の方々にに対して私は感激した。こ

職場体験 感想文コンクール2024

「私が目指す姿」 新庄市立新庄中学校 赤間 凜

のようなところからも、利用者の方を想った優しさが表れていることを知り、体験する前は、介護施設に利用者の方のための多くの温かな工夫があることを知らなかったと考えると、本当に仕事体験をすることができてよかったと思う。

現在、介護関係の仕事の人手不足が問題となっている。その背景には、介護の仕事がどのようなものなのかを詳しく知っている人が少ないことや、高齢者と交流を図る機会がほとんどないことなどが原因としてあげられるのではないかと考えた。その原因を改善するためには、実際に介護とはどのようなことをしているのかを知ってもらうこと、身近で高齢者の方と交流する機会を得ることが大切だと思う。

かつろくの里・デイサービスかつろくの担当者の方は、「AIが進む現在ですが、大事なのは人と人の関わりだと思っている」とおっしゃっていた。その言葉を聞いて私は、介護士の方々に対する尊敬の気持ちが大きくなっていった。介護、そして仕事に触れることができ、とても良い機会となったと思う。

この2日間で私は大切なことをたくさん学んだ。「働く」ことに対する考え方やそれによって得られるもの、小さな心遣い、そして将来自分がなりたい姿。私は将来、この仕事体験で出会った「人と人との関わりを大切にできる人」を目標とし、仕事体験で学んだ大切なものを胸に、作業療法士として頑張っていきたいと思う。